

家庭科学習指導案

1 題材名 共に生きる生活 A (3)「家族や地域の人々との関わり」

2 題材の目標

家庭生活と地域の人々との関わりについて関心をもち、家庭生活が地域の人々との関わりで成り立っていることを理解し、よりよい関わり方を考えることができる。

3 指導計画 (全4時間予定)

評価 規 準	家庭生活への 関心・意欲・態度	家庭生活と地域の人々との関わりに関心をもち、自分の生活をよりよくしようとしている。	
	生活を創意工夫 する能力	家庭生活と地域の人々との関わりについて課題を見付け、よりよい関わりを考え、工夫している。	
	生活の技能		
	家庭生活について の知識・理解	家庭生活が地域の人々との関わりで成り立っていることや、協力し、助け合っていく必要があることについて理解している。	
時間	過程	伸ばしたい資質・能力	主な学習活動
第1時 ～ 第2時	つかむ	○自分の家族・家庭生活と地域の人々との関わりについて考える力。 (関心・意欲・態度)	○これまでの生活を振り返り、家族の一員としての自身の役割、家族との関わりについて考える。 ○地域に目を向け、地域の人々とどのように関わっていったらよいかを考え、学習課題を立てる。
第3時	追究 する	○家庭生活が地域の人々との関わりで成り立っていること、地域の人々との協力が大切であることの理解。 (知識・理解)	○「B衣生活」の実習時間に「関わり体験」を行う。 ○「関わり体験」を通しての気づきや思いを「関わりマップ」にまとめ、共有する。
第4時	まと める	○既習の知識や技能を活用し、自分にできることを考える力。(創意工夫)	○「関わりマップ」を活用して、自分にできることを考える。

4 本時の展開 (1 / 4)

- (1) **ねらい** これまでの生活を見つめ、地域の人々と快適な生活を送るために、どのようなことを心掛けたらよいかを考える活動を通して、地域の人々との関わりに関心をもつことができる。
- (2) **準備** 共通体験を想起できる写真資料、ワークシート
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 これまでの学習内容を振り返る。</p> <p>☆5年生の時から家の手伝いをやっているよ。</p> <p>☆団らんの時間にお茶やデザートを準備したよ。</p> <p>☆朝の生活時間を見直したよ。</p>	5分	<p>○既習事項を振り返ることができるように、教科書の写真を提示する。</p>
<p>[めあて] 地域の人々と関わるとはどのようなことなのかを考えよう</p>		
<p>2 自分たちが住んでいる地域について考える。</p> <p>☆学校の周りや自分の家の近くが地域だね。</p> <p>☆地域にはいろいろな行事があるね。</p>	15分	<p>○地域に関心をもてるように、行事の様子や地域の写真を提示する。</p> <p>○住んでいる人を「地域の人々」と定義できるように、地域のイメージを共有させる。</p> <p>○地域で行われている行事、登下校の見守り、交通安全教室、回覧板の受け渡しなどを想起させる。</p>
<p>3 地域の人々と関わった経験について話し合う。</p> <p>☆僕たちの登下校を見守ってくれているよ。</p> <p>☆公民館へ行くと、いつも優しく声を掛けてくれるよ。</p>	10分	<p>○自分たちの生活が、地域の人々と関わりがあることに気付くことができるように、クラスで話し合わせる。</p>
<p>4 地域の人々と、快適な生活を送るためには、どのようなことを心掛けたらよいかを考える。</p> <p>☆関わっている実感はなかったけれど、毎朝、交通指導員さんと挨拶をしているよ。</p> <p>☆関わり方がよく分からないから、これから考えていきたいな。</p>	10分	<p>◎快適な生活が思いつかない場合は、地域の人々とどのようになりたいかの視点で考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇地域に目を向け、どのように関わりをもったらよいかを意欲的に考えている。 〈ワークシート〉【関心・意欲・態度】</p> </div>
<p>5 本時のまとめと振り返りをする。</p> <p>☆これから地域の人との関わりについて考えていきたいな。</p>	5分	<p>○2学期に行う実習時間に地域の人に来校してもらい、関わりをもつことを伝える。また、日頃から地域の人に目を向けたり、地域の行事に可能な限り積極的に参加したりして、地域の人々と関わりをもつことができるように促す。</p>

本時の展開 (2 / 4)

- (1) **ねらい** 地域の人々とのよりよい関わりを考える学習課題を設定することを通して、これからの学習に意欲をもつことができる。
- (2) **準備** 写真、ワークシート
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時の授業を振り返る。 ・地域の人々との関わりにはどのようなものがあるかを考える。	5分	○地域の人々との関わりを想起することができるように、地域で行われている行事の写真を提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】 地域の人々とよりよく関わるために、どのような学習をしたらよいか考えよう</p> </div>		
2 地域の人々との関わりで、知りたいこと、できるようになりたいことを考える。 ☆地域の行事に参加することも関わりなのかな。 ☆隣の家の人と仲よくなりたいな。 ☆ごみステーションの掃除は誰がしているんだろう。僕たちにもできるのかな。 ☆登下校中に交通指導員さんが僕たちを見守ってくれているけど、挨拶ができないな。 ☆関わりと言われても、どのように関わったらいいのかな。	20分	○どのような地域で生活してみたいか、隣近所の人々と、どのように接したいかを話し合わせる。 ◎関わっている実感がなく、関わりが分からないと感じている児童には、「地域の人々とどのような関係を築きたいか」の視点で考えるように促す。
3 学習課題を考える。 ☆地域にいる異世代の人々と関わってみよう。 ☆関わりを通して、どのように関わったらよいかを考えよう。 ☆地域の人々と関わりがある行事や活動を調べよう。	15分	○児童の言葉を用いて学習課題を設定する。
<p>学習課題：地域の人々と協力して、みんなが楽しく生活できるようになろう！</p>		<p>◇地域の人とよりよく関わるために、どのような学習をしたらよいかを考えている。 (発言・ワークシート)【関心・意欲・態度】</p>
4 本時の振り返りをする。 ☆「関わり体験」でどのように関わったらよいかのかな。	5分	○「関わり体験」では、各自が主体的に活動できるように、相手の立場や状況を考え、どのように関わるのが適切なのかを考えさせ、次時の授業への意欲付けをする。

本時の展開 (3 / 4)

- (1) **ねらい** 「関わり体験」での気付きや思いをまとめる活動を通して、家庭生活が地域の人々との関わりで成り立っていることを理解する。
- (2) **準備** メッセージカード、模造紙
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時のめあてをつかむ。 ・「関わり体験」を振り返る。	2分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> [めあて] 地域の人々との関わりを通して、気付いたことを「関わりマップ」に表そう </div>
2 「関わり体験」を通しての気付きや思いを「関わりマップ」にまとめる。 ・地域の人々からのメッセージを知る。 ・「関わり体験」を通しての気付きや思いを記述する。 ☆初めて会う地域の人もいて緊張したけれど、優しく声を掛けてもらえて嬉しかったな。 ☆玉結びが上手にできたら、褒めてくれたよ。	20分	○地域の人々からのメッセージを聞くことで、地域の一員として大切に思われていることに気付けるようにする。 ○気付いたことを共有することができるように、クラスのコメントをグループ分けしておく。
3 「地域の人々と協力することの大切さ」を考え、まとめる。 ・グループで話し合う。 ☆地域の行事や清掃活動、登下校の見守りなど、家族だけではできないこともあるな。 ☆地域の人がいってくれることで安心できたり、快適に生活ができるんだな。 ・全体で共有し、一般化する。 ☆地域の人との交流を深めることで、お互いに協力し合えるようになるのだな。 ☆自分たちが住んでいる町をよりよくするためには地域の人と協力していくことが大切なのだな。 ☆一人だと何もできないけれど、地域の人と協力すると助け合うことができるんだな。	20分	◎話合いが進んでいないグループには、日常生活で、自分がしてもらっていることを想起させ、「地域の人がいなかったら、日常生活はどうなるか」の視点で考えさせる。 ○地域の人にしてもらっていることも関わりであることに気付かせる。 ○家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることを理解できるように一般化する。 ・家庭生活は地域の人々と関わりを持ちながら成り立っている。 ・地域の人々との関わりが、つながりや交流を深める上で大切である。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ◇家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていること、地域の人々との協力が大切であることを理解している。 (発言・ワークシート)【知識・理解】 </div>
4 本時の振り返りをする。 ☆家の人も地域に協力しているのだな。 ☆自分に協力できることは何かな。	3分	○一般化した内容を確認し、共有できるようにする。

本時の展開 (4 / 4)

- (1) **ねらい** 「関わりマップ」を活用して、自分にできることを考える活動を通して、よりよい関わりを工夫することができる。
- (2) **準備** 「関わりマップ」、ワークシート、メッセージカード
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ・「関わり体験」のまとめを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>[めあて] 地域の中で、自分に協力できることを考えよう</p> </div>	5分	<p>○前時の授業を振り返ることができるように「関わりマップ」を提示する。</p>
<p>2 自分にできることを考え、「関わりマップ」に記述する。 ☆ボランティアの人は、知らない人ばかりだったけど、優しくしてもらえて嬉しかったから、僕も、地域の知らない人に優しくしたいな。 ☆登下校の見守りをしてきている人がミシンの先生と同じ人だったよ。いろいろな所で見守ってくれたり、協力してもらっているんだな。私も、自分にできる協力をしていきたいな。</p>	15分	<p>○地域の人々の抱えている思いを確認する際に、「関わりマップ」を活用するように伝える。</p>
<p>3 実践計画を立てる。 ☆登下校を見守ってくれている交通指導員さんに自分から元気な挨拶をしてみよう。 ☆朝のごみ出しをお母さんと一緒にやってみようかな。 ☆隣の家に回覧板を持っていってみよう。</p>	15分	<p>○地域の人々が笑顔になれる実践内容を考えることができるように、アドバイスをする。</p>
<p>4 計画内容について検討し、よりよい実践ができるように修正する。 ☆友達の発表を参考にして、協力できそうなことを考えることができたよ。 ☆ごみ出しに行ったら、挨拶もしてみようかな。</p>	5分	<p>○よりよい実践につながるように、お互いにアドバイスをすることを伝える。 ◎具体的に考えることができない児童には、ペアで相談させたり、友達の発表を参考にさせたりして、考えを広げることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>◇これまでの学習を通して学んだことを、今後の生活にどのように生かしていくかを考えている。 (発言・ワークシート)【創意工夫】</p> </div>
<p>5 題材を通しての振り返りをする。 ☆自分にできることを実践してみたいな。 ☆家の人と一緒にごみステーションの掃除をやってみたいな。</p>	5分	<p>○計画を基に、自分にできることを地域で実践できるように励ます。 ○次時より、これまでの学習で得た知識や技能を活用した学習を行うことを伝える。</p>

共に生きる生活 ～地域に目を向けよう～

6年 組()名前

資料をみて気付いたことを書いてみよう。



地域の活動や行事にはどのようなものがあるかな？

地域の人と一緒にどのような活動をしたことがあるかな？

お互いに気持ちよく過ごすためにはどのようなことを心がけるといいかな？

振り返り

共に生きる生活 ～学習課題を考えよう～

6年 組()名前

知りたいこと・できるようになりたいこと

グループでの話し合い



学習課題

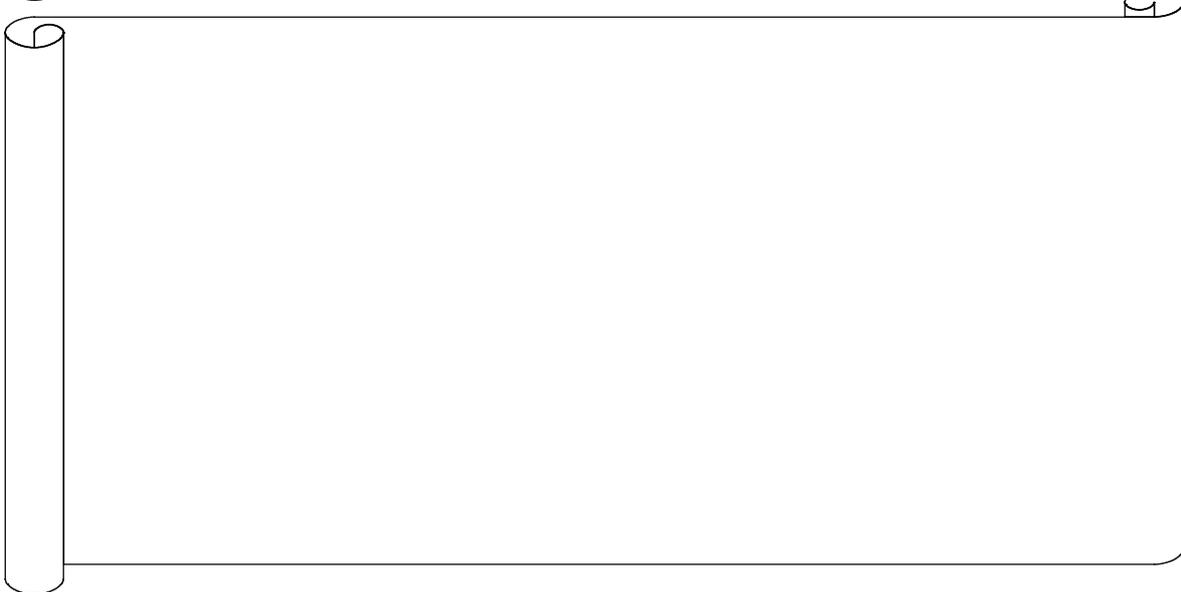
振り返り

共に生きる生活

～地域の人々との関わり体験を通して～

6年 組()名前 _____

地域の人々との関わり体験を通して、気付いたこと、分かったこと、感想を書こう！



振り返り

共に生きる生活

～まとめ～

6年 組()名前 _____

地域の人からのメッセージを聞いた感想

まとめ

これからの生活で、生かしてみたいことを書いてみよう

地域でどんなことができるかな

友達からのアドバイス

振り返り ①

振り返り ②

共に生きる生活

～これからの生活に生かそう～

6年 組()名前

実践！！	をしました。
感想	

実践！！	をしました。
感想	

振り返り

家庭科学習指導案

1 題材名 感謝の気持ちを伝えよう A(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」

2 題材の目標

日常生活を見つめ、地域の人々との関わりについての課題を設定し、既習の知識や技能を活用して解決方法を考え、よりよい生活を送るための工夫をすることができる。

3 指導計画（全5時間予定）

評価 規 準	家庭生活への 関心・意欲・態度	お世話になっている地域の人々に関心をもち、感謝の気持ちを伝えて、生活をよりよくしようとしている。	
	生活を創意工夫 する能力	地域の人々との関わりについて課題を見付け、その解決に向けて、既習の知識と技能を活用して計画を立て、よりよい生活を送るための工夫をしている。	
	生活の技能		
	家庭生活について の知識・理解		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力	主な学習活動
第1時	つかむ	○日常生活を見つめ、課題を設定する力。（関心・意欲・態度）	○これまでの生活を見つめ、地域の人々との関わりについての課題を設定する。
第2時 ～ 第4時	追究 する	○既習事項を生かして計画を立てる力。（創意工夫） ○既習の知識や技能を活用して課題を解決する力。（創意工夫）	○感謝の気持ちを伝えるための計画を立てる。 ○感謝の気持ちを伝えたい相手を思い、布を用いて小物を製作する。
第5時	まと める	○よりよい生活を送るための新たな課題を見だし、家庭や地域で次の実践につなげようとする態度。（関心・意欲・態度）	○実践発表会で、友達の実践の工夫やよさを認めたり、自己の実践を振り返ったりして、改善策を考える。

4 本時の展開 (1 / 5)

- (1) **ねらい** 日常生活を見つめる活動を通して、生活をよりよくするための自己の課題を設定することができる。
- (2) **準備** ワークシート、「関わりマップ」
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 地域での実践活動を紹介し合う。 ・前題材での学習内容を振り返る。</p> <p>☆交通指導員さんに自分から挨拶することができたよ。</p> <p>☆家の人と一緒にごみステーションの掃除をしたよ。褒めてもらえて嬉しかったな。</p>	10分	<p>○実践活動を紹介し合う活動を通して、地域の人々との関わりを深めたいという気持ちを高める。</p> <p>○「関わりマップ」を活用して地域の人々と協力することの大切さを振り返る活動を通して、自分のできることを実践していきたいという意欲を高める。</p>
<p>2 学習課題を設定する。</p> <p>☆地域のためにいろいろな人が、毎日活動してくれていたんだね。</p> <p>☆地域で活動してみて、自分にできることは続けていきたいと思ったよ。</p> <p>☆ありがたいの気持ちを伝えたいな。</p>	15分	<p>○関わりをもったことがある地域の人に、どのような場面でお世話になったのかを想起させるために、グループで意見を交流し、発表する時間を設定する。</p>
<p>【めあて】 日常生活を見つめ、お世話になっている人を考えよう</p>		
<p>学習課題：自分たちができていることを生かして、お世話になっている地域の人に感謝の気持ちを伝えよう。</p>		
<p>3 感謝の気持ちを伝える相手を考える。</p> <p>☆登下校の見守りをしてくれている交通指導員さん、公民館の人、地域の行事でお世話になった人、給食補助員さんにもお世話になっているね。</p>	15分	<p>○気持ちを伝える相手を考えることができるように、「関わりマップ」を参考にさせる。</p> <p>◎気持ちを伝える相手が想起できない児童は、「関わり体験」でお世話になったボランティアの方でもよいことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇これまでの生活を見つめ、お世話になった人 を考え、感謝の気持ちを伝えようとしている。 (ワークシート)【関心・意欲・態度】</p> </div>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>☆これまでに、たくさんの人にお世話になってきたことが分かったよ。ありがたいの気持ちを伝えたいな。</p>	5分	

本時の展開 (2 / 5)

- (1) **ねらい** 各自の課題を解決するための計画書を作成する活動を通して、生活をよりよくするための工夫を考える。
- (2) **準備** ワークシート、「関わりマップ」
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 前時の授業を振り返る。 ・各自が設定した課題を振り返る。</p>	3分	<p>[めあて] 感謝の気持ちを伝えるための計画書を作成しよう</p>
<p>2 実践計画書を作成する。 ☆毎日登下校を見守ってくれている交通指導員さんにお守りを作りたいな。 ☆給食支援員さんやボランティアさんに喜んでもらえる物は何かな。 ☆玉どめをして、いちごのコースターを作ろう。 ☆基礎縫いを活用して、ティッシュケースを作ろう。</p>	30分	<p>○既習の知識や技能が確認できるように、教科書の写真や、基礎縫いの見本を提示する。 ○製作をスムーズに進めることができるように、下記の事項を確認する。 □感謝の気持ちを伝える相手のことを考え、喜んでもらえるような製作計画を立てているか。 □時間内に製作が終了するか。 □自分の力で製作することができるか。 □目的に合った材料を使っているか。 □目的に合った縫い方をしているか。 □既習の知識や技能を活用しているか。 ◎作り方が分からない児童には、出来上がり作品の実物を提示し、参考にさせる。</p>
<p>3 計画を修正する。 ・計画内容について検討し、よりよい実践ができるようにする。 ☆丈夫にするために、ミシンで縫おう。 ☆袋の大きさを決める時は、ゆとりが必要だったよ。</p>	10分	<p>○既習の技能を活用できるように装飾や糸の色を工夫したり、丈夫に縫った方がよい箇所(縫い始め、縫い終わり、取り出し口)などをアドバイスできるように支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇感謝の気持ちを伝える相手のことを考え、既習の知識や技能を活用した製作計画を工夫することができる。 (ワークシート)【創意工夫】</p> </div>
<p>4 本時の振り返りをする。 ☆これまでに習ったことを生かして、感謝の気持ちを伝えたいな。</p>	2分	<p>○計画に基づいて、各自が必要な道具や材料を準備するように伝える。</p>

本時の展開 (3・4 / 5)

- (1) **ねらい** 布を用いた小物を製作する活動を通して、既習の技能を活用し、相手のことを考えて、よりよい作品にするために工夫することができる。
- (2) **準備** 裁縫セット、各自必要な材料（布、フェルト、ボタンなど）、実践計画書
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時のめあてをつかみ、見通しをもつ。</p> <p>☆一人で作るのは初めてだから、上手にできるか不安だな。</p> <p>☆友達のアドバイスを参考にしながら、素敵な小物を作りたいな。</p>	5分	<p>○安全に作業を進めることができるように、注意事項を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丈夫にするための縫い方（返し縫い） ・作品にあった材料（布や糸など） ・道具の安全な使い方 <p>○友達同士でアドバイスをし合うことを伝える。</p> <p>○計画に基づいて、各自が必要な道具や材料を準備するように伝える。</p>
<p>[めあて] 感謝の気持ちを伝えるときにプレゼントをする小物を工夫して作ろう</p>		
<p>2 実践計画に基づいて、製作をする。</p> <p>☆長く使ってもらいたいから、本返し縫いをし、丈夫に仕上げよう。</p> <p>☆丁寧に作って、喜んでもらえるものが出来上がるといいな。</p>	70分	<p>○よりよい作品を製作するために、友達のアドバイスを参考にしよう声を掛ける。</p> <p>◎机間支援をしながら、つまづきそうな児童には手順の説明をしたり、縫い方の見本を示したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇感謝の気持ちを伝える相手のことを考え、既習の技能を活用して、よりよい作品にするために工夫をしている。</p> <p style="text-align: right;">(観察・作品)【創意工夫】</p> </div>
<p>3 後片付けをする。</p>	5分	<p>○使用した道具は元の場所に片付けるよう指示をする。</p> <p>○裁縫セットの中身に過不足がないかを確認させる。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>☆地域のことを考えて小物を作ったから、喜んでもらえる嬉しいな。</p> <p>☆地域の人に自分から声を掛けるのは、少し緊張しそうだ。</p>	10分	<p>○実践発表会を行うために必要な発表原稿を記入させる。</p> <p>○出来上がった作品を持って、お世話になった地域の人に気持ちを伝えるに行くよう伝える。</p> <p>※児童が、安心・安全に活動ができるように、地域の交通指導員さんやボランティアの方、児童の家庭にはお便り等で、事前に学習の内容を伝え、協力を依頼しておく。</p>

本時の展開 (5 / 5)

- (1) **ねらい** 実践発表会を行い、学習のまとめをする活動を通して、地域の人々との関わりを考え、今後の生活をよりよくしようとする意欲をもつことができる。
- (2) **準備** ワークシート、出来上がり作品の写真
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
1 本時のめあてをつかむ。	2分	
<p>[めあて] 実践発表会を通して学習を振り返り、今後の生活をよりよくする方法を考えよう</p>		
2 実践について、自己評価をする。 ☆プレゼントを渡した時に、「ありがとう」って笑顔で喜んでくれたから、嬉しかったよ。 ☆計画作りの時に型紙をもう少し丁寧に作ったら、出来上がりがもっと綺麗にできたかな…。	8分	○振り返りの参考となるように、できあがり作品の写真を準備する。 ○計画書の作成や、気持ちを伝えた時の様子を想起させ、ワークシートに記入させる。 ○本題材でできるようになったことを確認するために、よくできたこと、工夫したことを中心に記述させる。
3 グループで実践発表をする。	15分	○グループでの実践発表が自信をもってできるように、始めにペアで発表内容を確認させる。 ○友達の実践のよさが分かるように、工夫した点や、頑張ったこと、どのような思いが込められているのかに着目して発表を聞くように指示をする。
4 新たな課題を見いだすために話し合いをする。 ☆◇◇さんの工夫が参考になったので、次回やってみたいと思った。	15分	○新たな課題を見いだすために、自分の実践の改善点や、これからの自分の生活に生かしていきたいことをワークシートにまとめさせる。 ◎改善点に気付けない児童には、友達の工夫で参考になったことや、友達からのアドバイスを参考にするように助言する。 ○学習内容を振り返ることができるように「関わりマップ」を掲示する。
5 題材を通しての振り返りをする。 ☆今回、ゲストティーチャーの方が学校に来てくれたから、関わることができたけれど、今度は自分から地域の行事に参加してみたいな。 ☆地域や家族の一員として、できることをもっと増やしていきたいな。 ☆他にはどんな方法で、感謝の気持ちを伝えることができるかな？	5分	○題材を通じた感想を記入するように指示する。 ○これまでの学習で得た知識や技能を生かして、地域の一員として積極的に関わりをもてるように励ます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> ◇地域の人々との関わりを考え、今後の生活をよりよくする方法を考えている。 (ワークシート)【関心・意欲・態度】 </div>

感謝の気持ちを伝えよう

～計画を立てよう～

6年 組()名前 _____

これまでの生活を振り返って、お世話になった人を思い出してみよう。

--

感謝の気持ちを伝えるための計画書

誰に
感謝の内容
製作する物
必要な材料・道具
完成予定図

作り方(手順)

友達からのアドバイス

確認しよう！

- 目的に合った材料を集めることができそうですか。
- 自分の力で時間内に仕上げることができそうですか。
- 習った事を活用していますか。
- 感謝の気持ちは伝わりそうですか。

振り返り(製作に向けての意気込み)

感謝の気持ちを伝えよう

～まとめ～

6年 組()名前

よくできたこと

気持ちを伝えた相手

工夫できたこと

ここをもう少し△△△すればよかったな

作った物

気持ちを伝えた時の様子

気持ちを伝えてみての感想

計画通りに作ることができましたか (できた・まあまあできた・できない)

作品の出来上がり度は

(よくできた・まあまあよくできた・最初の計画とは違う物ができた)

友達の発表を聞いて、

「真似したいな!」、「いいな!」と思ったことを書きましょう。

さん	がいいな!



振り返り

学習を通して分かったこと・できるようになったこと

今後の生活に生かしたいこと

